

スリル満点！ (1月20日)

藤の沢小学校の4年生35人が、総合学習の一環として、フッズスノーエリアでリュージュを体験しました。そりを背負いスタート地点に到着すると、恐る恐る氷の上を滑り始めました。あまりの速さに悲鳴を上げる児童もいましたが、最後はみんな笑顔でゴールインしました。



▲もうすぐゴール、気を抜かないで！

みんなの広場でミニ雪まつり (2月4日・5日)



▲淡いともじびに包まれた幻想的な会場

澄川駅前交通広場で「第4回スノーフェスティバルin澄川」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。雪の滑り台を滑ったり、かまくらの中で豚汁やお汁粉を味わったりして、雪との触れ合いを存分に楽しみました。



▲かまくらの中の豚汁は最高！



▲アンパンマンとハイ、チーズ

防火祈願豆で火の用心

(2月2日)

節分を前に、地下鉄真駒内駅で、防火の願いを込めた「防火祈願豆」が配布されました。法被を羽織った真駒内幼稚園幼年消防クラブの15人と南区防火委員5人、市消防局のマスコット「リスキュー」が、乗降客に「火の元に注意して」と声を掛けながら手渡しました。



▲リスキューも大活躍



▲火事に気を付けてください！

滑って雪を満喫 (2月4日～12日)

滝野すずらん丘陵公園で、いろいろな道具を使って「すべる」を楽しむ「すべりオリンピックweek」が開催されました。ゴムスレーや木ぞりなどで雪山を滑り降り、冬ならではの遊びを楽しみました。



▲ゴムスレーで雪山をスイスイ、気持ちいい！

かわいい雪だるまがいっぱい (2月7日～10日)



▲どんな顔にしようかなー？

20cmほどの雪だるまには「だるまっち」や「バブうさぎ」などの楽しい名前が付けられ、人気投票で3位までの雪だるまを作った子どもには、メダルが贈られました。

みすまい児童会館で雪だるまコンテストが行われ、12人の子どもたちが一つずつ、いろいろな雪だるまを作りました。みんな寒さも忘れて、一生懸命。周りには、青や緑のアイスキャンドルも飾りました。



▲雪だるまにメダルを掛けて記念撮影